

新規事業評価調書
【道路事業】

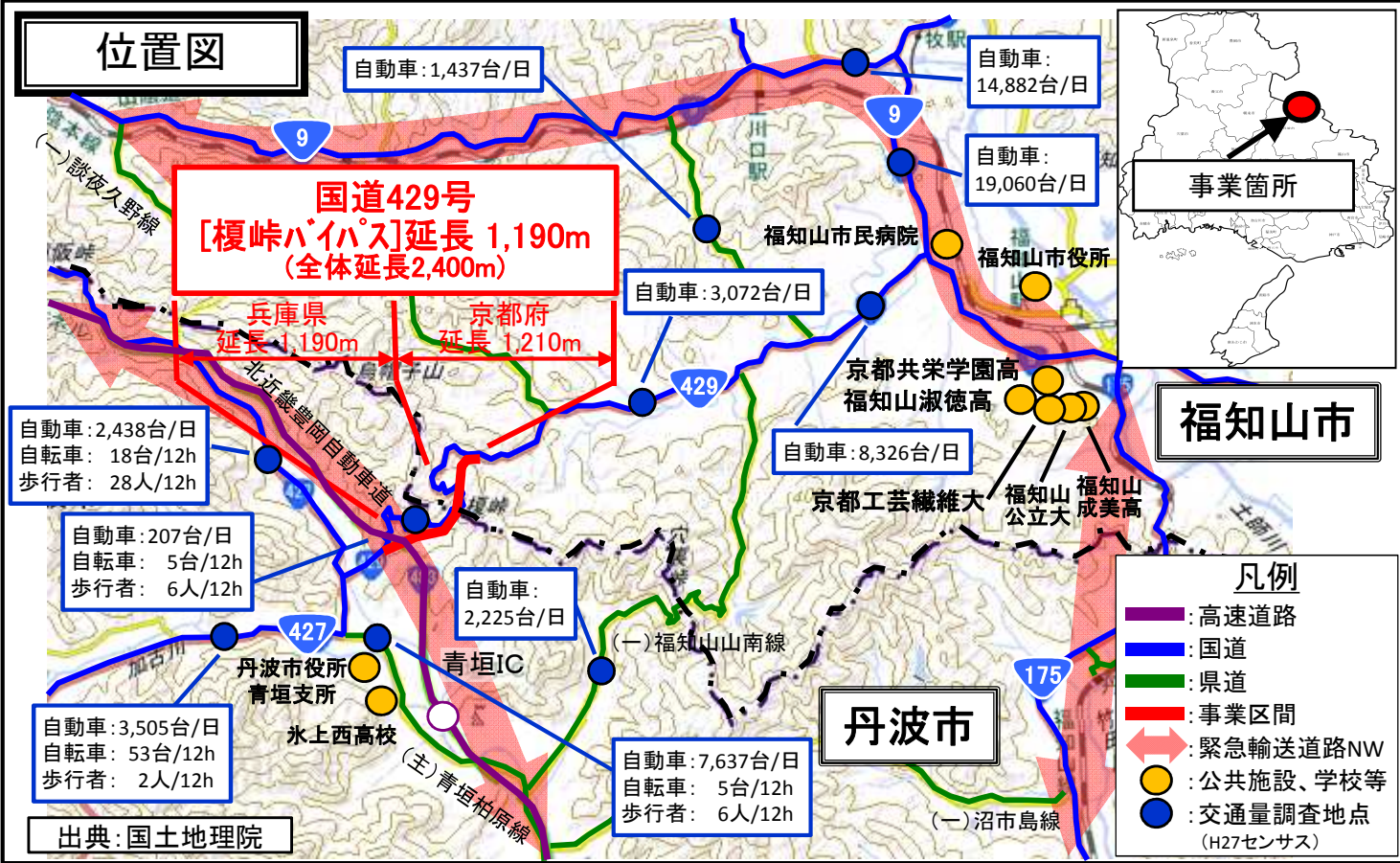
一般国道 429 号〔榎峠バイパス〕

県土整備部
土木局 道路街路課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 宇野 文章 (国道・橋梁班長 橋本 直樹)	内線	4362 (4378)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
道路事業	道路改築事業 一般国道 429 号 〔榎峠バイパス〕	兵庫県丹波市青垣 町中佐治（～京都府 福知山市談）	21 億円 (全体 43 億 円)	0.1 億円 (全体 0.6 億 円)	令和 2(2020) 年度	令和 8(2026) 年度
事業目的			事業内容			
<p>本路線は、岡山県倉敷市を起点とし、京都府福知山市に至る幹線道路であり、県内陸部を東西に結び、沿線地域の生活、産業を支える重要な路線である。</p> <p>○安全・安心で円滑な交通の確保 幅員狭小(最小幅員 3.0m)、急カーブが連続する峠部の未改良区間をバイパス整備することにより、安全・安心で円滑な交通を確保する。</p> <p>○地域間交流・連携の支援 丹波市青垣地域で取組む「体験型観光」や「滞在型交流」への来訪者のさらなる増加を促し、広域的な観光連携など地域間の交流・連携を支援する。</p> <p>○緊急輸送道路ネットワークの強化 緊急輸送道路である国道 9 号の一部は、異常気象時通行規制区間があり、代替路として、災害時の広域的な道路ネットワークを強化するとともに、丹波医療センターの府県域をまたいだ医療圏域の拡大を図る。</p>			<p>【延長】道路改築 1,190m (全体延長 2,400m)</p> <p>【構造規格】第 3 種第 3 級</p> <p>【計画幅員】2 車線 歩道なし 車道[明かり区間]6.0m (全幅 7.5m) [トンネル区間] 6.0m (全幅 7.0m)</p> <p>【計画交通量】 3,000 台/日 (R12 推計)</p> <p>【現況交通量】 自動車 207 台/日 (H27 センサス) 自転車 5 台/12h (H27 センサス) 歩行者 6 人/12h (H27 センサス)</p> <p>【負担割合】 国 50% 県 50%</p>			
評価視点		評価結果の説明				
(1) 必要性		<p>① 現道は急カーブが連続し、幅員狭小で普通車の離合さえ困難であり、特に冬期の通行に支障がある。また、異常気象時通行規制区間があり、過去 5 年間に 3 度の通行止めが発生していることから、安全・安心で円滑な交通を確保する。</p> <p>② 丹波市青垣地域で取組む「体験型観光」や「滞在型交流」への来訪者のさらなる増加を促し、府県境を越えた広域的な観光連携による地域活性化を図る。また、廃校を利用した新たな民間企業誘致の取組みに、さらなる活用の可能性が拡大するほか、青垣工業団地の物流・利便性が向上し、地域の産業振興に寄与する。</p> <p>③ 異常気象時通行規制区間を有する国道 9 号(緊急輸送道路)の代替路として、災害時の広域的な緊急輸送道路ネットワークを強化する。また、福知山市内からのアクセス向上により、丹波医療センターの府県域をまたいだ医療圏域の拡大に寄与する。</p>				
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)		<p>① 費用便益比 B/C=1.3</p> <p>② バイパス整備により、異常気象時通行規制区間が解消される。</p> <p>③ 丹波市長、福知山市長により構成する「国道 429 号(福知山丹波間)改修促進同盟会」、丹波・福知山両市議会議員、地元自治会により構成する「国道 429 号(福知山青垣間)改修促進合同協議会」が毎年早期整備の要望書提出や、決起大会を開催しており、地元の期待が大きい。</p> <p>④ 今年度から丹波市森林組合が事業地周辺の地籍調査に着手しており、早期用地取得に向けた取組みが進んでいる。</p> <p>⑤ バイパス整備後の現道の管理引継ぎについて、丹波市と協議が整っている。</p> <p>⑥ 事業着手時期について、京都府と協議が整っている。</p>				
(3) 環境適合性		<p>① 周辺には絶滅危惧種ホトケドジョウ(環境省レッドリスト: IB、兵庫県レッドリスト: Aランク(兵庫県では丹波市にのみ生息))の生息を確認していることから、ルート検討段階において、生息環境の保全に配慮したルートを選定した。</p>				
(4) 優先性		<p>① 「地域の防災道路強靱化プラン」に位置づけられており、災害に強い強靱な県土づくりを進める上でも早期整備が必要である。</p> <p>② 青垣地域の「体験型観光」や「滞在型交流」、廃校を利用した新たな民間企業誘致など、丹波市の地域活性化に向けた取組を支援するためにも早期整備が必要である。</p>				
【事後評価】 対象・対象外		<p>① 地域の連携・交流等の効果や事業に対する地域住民の意見等の調査を実施し、事後評価を行う。</p>				

道路事業 一般国道429号〔榎峠バイパス〕



目的

- ①安全・安心で円滑な交通の確保
- ②地域間交流・連携の支援
- ③緊急輸送道路ネットワークの強化

事業概要

事業区間：兵庫県丹波市青垣町中佐治^{なかさじ} (～京都府福知山市談^{だん})

総事業費：21億円(全体 43億円)

内用地補償費：0.1億円(全体 0.6億円)

事業期間：R2～R8

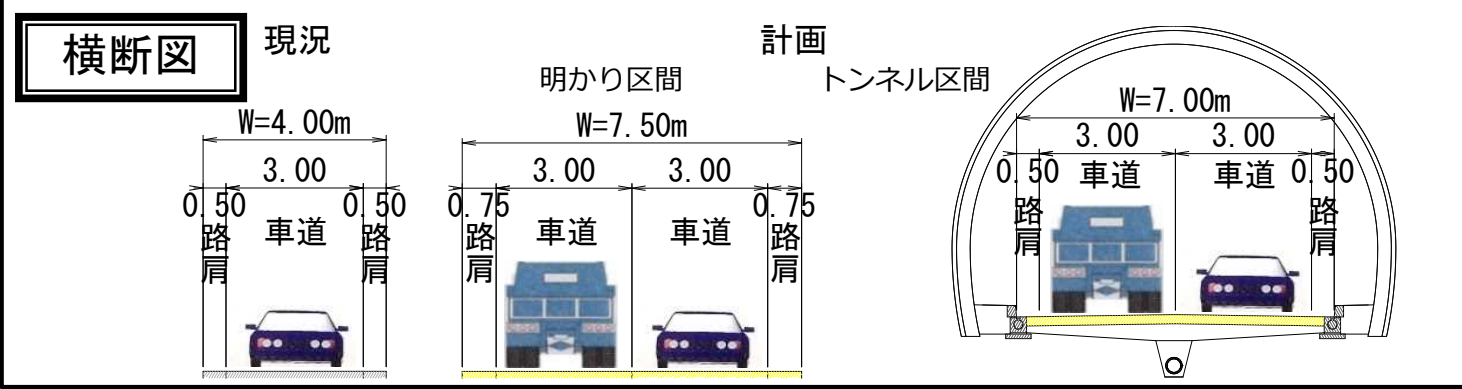
事業概要：バイパス(トンネル)

延長：1,190m(全体 2,400m)

計画幅員：〔明かり区間〕6.0(7.5)m
〔トンネル区間〕6.0(7.0)m

計画交通量：3,000台/日(R12推計)

B/C : 1.3



工程表

工種	年度						
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
調査・設計	■						
用地補償		■					
道路改良			■	■	■	■	■

事業の必要性・優先性

①急カーブが連続し、幅員狭小で離合困難であり、特に積雪時には通行に支障をきたしている。また、兵庫県域は異常気象時通行規制区間で、過去5年間に3度の通行止めが発生しており、安全・安心で円滑な通行を確保する必要がある。

現況写真

①連続したヘアピンカーブ

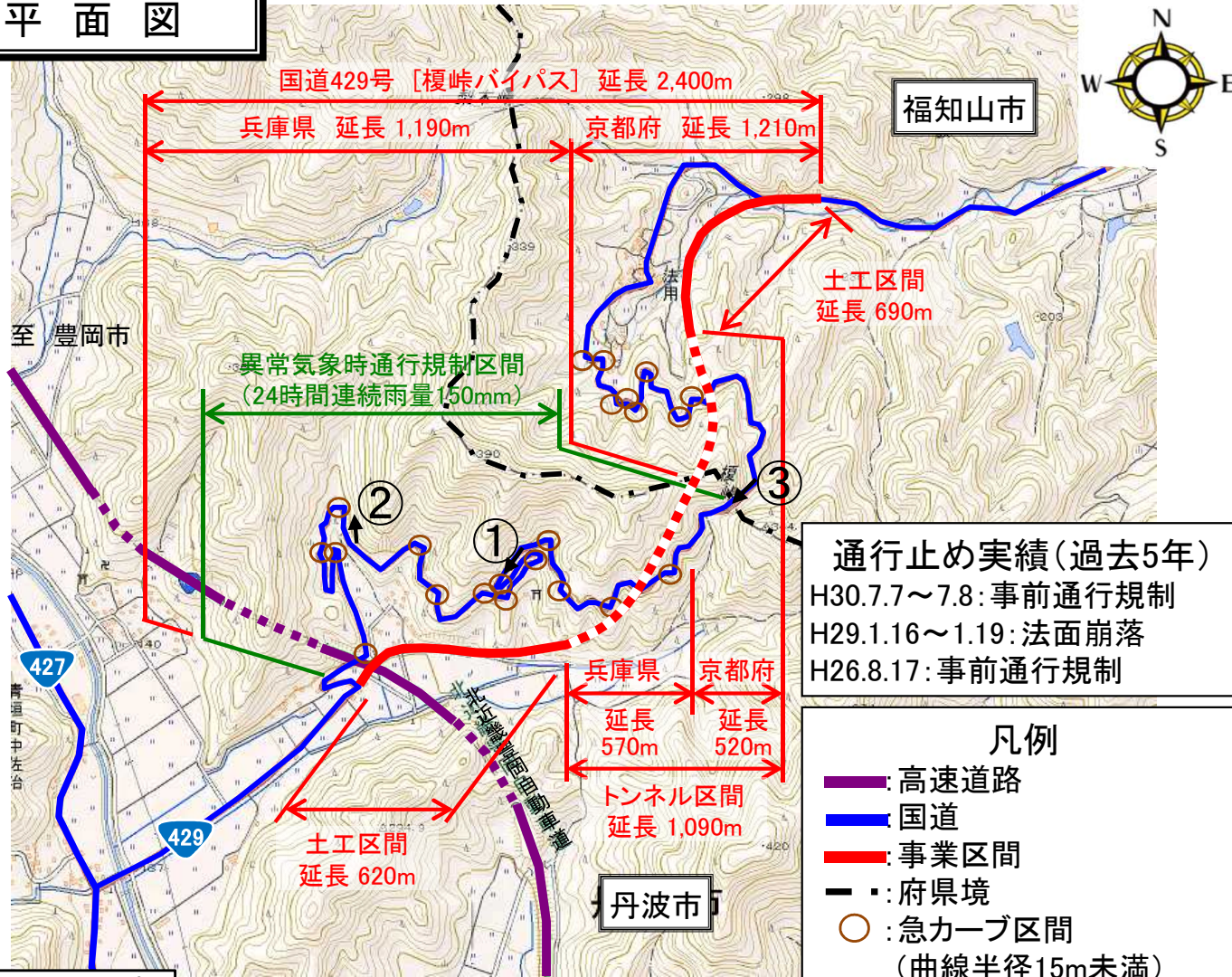


②幅員狭小な現道(離合困難)



③幅員狭小な現道(冬期の通行)

平面図



通行止め実績(過去5年)
 H30.7.7~7.8: 事前通行規制
 H29.1.16~1.19: 法面崩落
 H26.8.17: 事前通行規制

出典: 国土地理院

必要性が分かる
 写真①

